

5 10 15 20 25
トライオロジの試験研究について

トライオロジの研究に関する試験機、測定機として、かわりの多い現象のなかで、かつこれら重要な評価点となるものには、広さの大小、長さ、限界点の高低、消耗の大小、寿命は、離寿命（使用寿命）の長短の4点、がまず先に挙げられよう。しかし上にあげた評価点の現象をみると、その値はばらつきやすくかつ正確な不安定であるものが多く、むしろこのトライオロジ関連値の決定にこそ不安定さのなかには、トライオロジの定態があるといえるのである。

トライオロジ現象にさういふばらつきや不安定さがある、復原に存在または発生し易いこと、トライオロジの関連試験機や測定機の計画と利用において、摩擦現象のかわる微妙な誤差原因は徹底的に除去する必要がある、また、試験機の剛性増や懸垂形除去による片当たり防止、円形粒子の混入排除、機械の組みつけすし間、の正しい調整等、等は、トライオロジにかかわる試験研究生において、はとくに重要な意味をもつのである（東大名誉教授 曾田龍卓）